

研究課題名	同種造血幹細胞移植の全例調査（研究名略称：OCU11-A）
研究の意義・目的	造血幹細胞移植治療成績を改善し発展させていくためには、移植成績を調査把握し公表していくことが必要不可欠です。本研究は、当科で過去に造血幹細胞移植治療を施行された患者さん、または今後移植治療を施行される患者さんの全例を調査し、移植の種類、疾患、幹細胞ソース、ドナー、病態など種々の因子別に解析を行い、予後因子や治療成績を報告することで、今後の移植治療の改善と移植成績の向上を図ることを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2030 年 5 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	大阪公立大学医学部附属病院 血液内科・造血細胞移植科で過去に造血幹細胞移植治療を施行された患者さん、または今後移植治療を施行される患者さんが対象となります。対象疾患の例としては、急性白血病などの造血器腫瘍、再生不良性貧血などの造血障害が挙げられます。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>①基本情報：年齢、性別、身長、体重、血液型、抗体など</p> <p>②初発時疾患情報：初発時血液検査、初発時臨床症状、血液細胞の形態/染色体/遺伝子異常の有無、画像検査、病理所見</p> <p>③移植時情報：血液検査（末梢血血算、白血球分画、リンパ球サブセット、止血・凝固系検査など）、生化学一般（電解質、タンパク分画、γグロブリン値、血糖値、甲状腺機能、鉄代謝、感染症スクリーニング検査、クレアチニンクリアランス）、検尿、心機能（心臓エコー、心電図）、呼吸機能検査、腹部エコー、SpO2、胸部 X 線、副鼻腔 CT、移植時病期（骨髄検査・CT 検査など診断の必要に応じて行った検査）、移植回数、ドナーソース情報、患者/ドナーHLA、前処置方法、輸注細胞数、GVHD 予防法、移植日</p> <p>移植治療情報：移植前化学療法、前処置、免疫抑制剤、GVHD 予防方法、感染症予防方法</p> <p>④移植後経過情報：治療関連毒性、生着、使用した薬剤、輸血種類・回数、急性 GVHD、慢性 GVHD、感染症、生存、再発の有無、死因、移植後の病期、再発後治療、移植後ドナーリンパ球輸注、二次癌、晩期障害情報</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、大阪公立大学医学部附属病院 血液内科・造血細胞移植科、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学で行います。</p> <p>【研究責任者】中前 博久</p>
個人情報取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表</p>

	されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 担当者氏名：中前 博久 電話番号：(06) -6645-3881